

琉球大学学術リポジトリ

飲酒行動に関する心理学的研究1

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学法文学部 公開日: 2010-02-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 中村, 完, 国吉, 和子, 島袋, 恒男, 名城, 嗣明, Nakamura, Tamotsu, Kuniyoshi, Kazuko, Shimabukuro, Tsuneo, Nashiro, Shimei メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/15909

飲酒行動に関する心理学的研究 I †

中村 完* 国吉和子**
島袋恒男*** 名城嗣明*

I 序

本研究は飲酒行動に関する諸側面について主に心理学的立場から解明することを目的とする。具体的には次の6点について明らかにしていく。

1) 飲酒行動の発生条件となる個人のパーソナリティ要因及び個人をとりまく状況的要因を明らかにし、個人的・社会的状況における飲酒の機能を把握する。

2) 習慣的飲酒行動及び逸脱的・病的飲酒行動のメカニズムについて個人的・状況的・文化的側面から検討する。

3) 地域間比較を行うことにより、地域の飲酒の習慣・様式と社会的・文化的な結合力・認容度の相互関係を明らかにする。

4) 工業化や都市化などによる社会構造の変化が個々人の飲酒行動の形態に如何なる影響を及ぼすか。また、それは個々人にとって社会的適応上、如何なる意味をもつかを検討する。

5) 酒類に対するイメージの構造分析と、飲酒行動及び飲酒者に対する認知・評価の要因分析を行う。

6) このような実証的研究を通して、飲酒の個人及び社会に及ぼすネガティブな影響への対応策を導き出す上で何らかの示唆を与え、役立てる。

上記の目的を達成するための基礎的研究として、これまで飲酒行動に関

注 * 琉球大学

** 沖縄大学

*** 琉球大学（法文学部非常勤）

† 本調査の実施に当っては沖縄県本島、離島の各地の多くの方々の協力を得ました。ここに記して感謝の意を表します。

連する既存の統計資料を基に、沖縄県における酒類消費の動向や消費パターン等の実態と、質問紙による大学生の飲酒行動の一般的傾向(一部)について報告してきた(沖縄心理学研究 6号、1983 参照)。

本研究の背景を理解するうえで、沖縄の酒類の消費動向や、飲酒行動に関連する沖縄県内の社会的状況、とりわけ風俗営業所等の実態について概観することは有益である。図1は、沖縄県における復帰後(昭和47年～昭和57年)の酒類消費の動向を全国のそれと比較したものである。昭和47

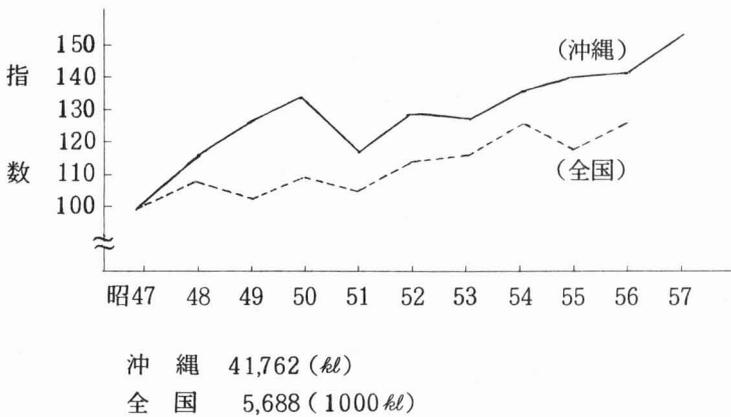


図1 沖縄県における酒類消費動向—全国との比較—

資料：沖縄国税事務所統計より作成

年から昭和56年までの間に、全国が昭和47年度の約1.27倍に増加しているのに対し、沖縄県は約1.41倍の伸びを示している。しかも、年毎の変動の割合は全国に比べてより大きくなっている。また、酒をビール、ウイスキー、泡盛(焼ちゅう乙類)に種類別に分け、成人人口一人当たりの消費量をみると、沖縄県は、ビールは全国で第3位にランクされ、ウイスキーは6位、泡盛では3位にそれぞれランクされている(表1参照)。表2は九州各県における風俗営業所や深夜飲食店の軒数と、それぞれについて1営業所当たりの人口割りを各県毎に示したものである。沖縄県は、風俗営業

表1 風俗営業等九州各県人口割比較

区分 県別	風 俗 営 業 所		深 夜 飲 食 店	
	営 業 所 数	1 営 業 所 当 り の 人 口	営 業 所 数	1 営 業 所 当 り の 人 口
福 岡	4,399	1,028.8人	9,938	455.4人
佐 賀	1,304	671.5	2,211	396.0
長 崎	1,224	1,304.2	5,745	277.8
熊 本	2,687	668.4	2,863	627.3
大 分	1,375	900.4	4,654	266.0
宮 崎	1,306	888.4	5,304	195.9
鹿 児 島	2,013	893.7	6,319	284.7
沖 縄	4,256	265.2	7,277	155.1
九 州	18,564	760.2	44,311	318.6
全 国	154,934	755.2	329,160	355.4

資料：沖縄県犯罪統計書（昭56）

表2 種類別酒の大量消費地（ベスト10）

（成人人口1人当りの消費量）

順位	ビ ー ル		ウ イ ス キ ー		泡 盛 (しょうちゅう乙類)	
	1 位	大 阪	80.37 ℓ	北海道	8.15 ℓ	鹿 児 島
2 位	東 京	76.25	東 京	8.10	宮 崎	20.70
3 位	沖 縄	63.41	青 森	7.32	沖 縄	12.49
4 位	京 都	61.53	神 奈 川	6.04	熊 本	5.95
5 位	兵 庫	60.56	宮 城	6.02	大 分	5.35
6 位	高 知	59.54	沖 縄	5.46	福 岡	4.30
7 位	広 島	58.16	山 梨	5.46	長 崎	3.27
8 位	愛 知	58.07	岩 手	5.10	佐 賀	2.83
9 位	静 岡	55.41	埼 玉	4.73	山 口	1.26
10 位	神 奈 川	54.72	群 馬	4.53	島 根	0.75

資料：国税庁酒税課統計より作成（昭55）

所、深夜飲食店の両方とも九州地区において軒数で福岡県に次いで2番目に多く、人口割りでみると両方とも1位の軒数を有している。

このような状況下で、他方、沖縄県精神衛生センターの調査(昭56)によると、近年沖縄県において「酒害に関する問題」の相談が増加しつつあると報告している。

このような沖縄における酒類の消費動向や飲酒に関わる沖縄の社会的状況、その他の沖縄の文化的特質、並びに生活様式等が沖縄住民の飲酒行動の形態に種々の影響を与えていることは十分に考えられる。

そこで、本稿では沖縄住民を対象に飲酒の実態、動機、習慣や、住民の飲酒行動に対する認知、評価等を質問紙法によって調査し、その結果を基にそれぞれについて、地域間比較、一般成人と大学生との比較等を行い、沖縄住民の飲酒行動の特徴について検討することを主な目的とする。

II 方 法

1. 調査対象

沖縄県内に居住する一般成人741名と学生71名を調査対象とした。地域別、年齢別、職業別の詳細は表3～表5に示す通りである。なお、職業別の欄に主婦30人が含まれているが、今回は分析対象から除外した。また表3～表5の合計値が異なるのは記入漏れによる。

表3 地域別調査対象内訳

	都 市	農 村	久米島	八重山	宮 古	大 学	合 計
人数	232	213	83	93	119	71	811
%	28.6	26.3	10.2	11.5	14.7	8.8	100.0

表4 年齢別調査対象内訳

	20才 未 満	20～ 24才	25～ 29才	30～ 34才	35～ 39才	40～ 44才	45～ 49才	50才 以 上	合 計
人数	1	73	9	109	208	195	161	55	811
%	0.0	9.0	1.1	13.4	25.6	24.0	19.9	6.8	100.0

表 5 職業別調査対象内訳

	農 業	漁 業	商 業	工 業	製造業	サー ビス 業	建設業	金融業
人数	81	24	57	12	17	59	106	7
%	10.0	3.0	7.1	1.5	2.1	7.3	13.2	0.9

	会社員	公務員	自由業	主 婦	学 生	無 職	合 計
人数	167	119	43	30	71	10	803
%	20.7	14.8	5.3	3.7	8.8	1.2	100.0

被調査者の特徴について若干補足しておく、年齢別では35才～39才が最も多く、次いで40才～44才、45才～49才となっている。20才～24才が比較的多いのは、大学生を含むからである。職業別では、会社員、公務員、建設業が多く、工業、漁業、金融業が少ない。

調査地域の詳細を示しておく、本島都市部には那覇市、沖縄市、名護市が含まれ、本島農村部には、玉城村、具志川市（農村部）、今帰仁村が含まれている。

2. 調査の実施

調査は、大学生が1983年2月に実施され、一般成人は1983年3月～5月の間に実施された。

3. 調査票の作成

調査票の作成に関しては、次の5つの飲酒行動領域を設定して行なわれた。

- ア. 飲酒の実態
- イ. 飲酒の動機
- ウ. 習慣的飲酒
- エ. 宴会飲酒習慣
- オ. 飲酒および飲酒者に対する認知と評価

以上5領域に関する合計47項目の設問に性、年齢等のデモグラフィック要因5項目を加えて、「飲酒行動に関する調査」票を作成した。回答はあらかじめ用意された選択肢から選ぶ多肢選択法（1つ、または3つ選択）と、必要な事柄を書き入れる記入法によった。

4. 調査の手続

調査は、各調査地点に位置する小学校在学の6年生の父親を対象として、児童を通して調査票の配布と回収を行なった。なお、児童の父親が不在、または欠損の場合は、祖父、兄などの家族や親類の成人男子の回答を求めた。

5. データの処理

本稿では、各設問項目における応答結果を単純集計し、項目×地域の二重クロスの応答分布表を作成し、地域間比較の分析に焦点を当てた。なお、項目11、12は記入が不完全なため分析の対象から除外した。

Ⅲ 結果と考察

1) 飲酒の実態

まず、最も好まれている酒は一般成人の場合、全体的に「泡盛」（21.0%～50.6%）、そして「ビール」（19.8%～41.5%）、「ウイスキー」（18.5%～33.6%）があげられている。地域別にみると、本島の都市部では「ビール」（41.5%）が最も好まれ、次いで「ウイスキー」（27.1%）となっている。都市部では「泡盛」はやゝ低率（21.0%）であるが、農村部では（29.8%）、「ビール」（29.8%）や「ウイスキー」（29.8%）とともに同比率を示し、都市部よりやゝ高めになっている。一方、離島地域では酒のなかで「泡盛」を好む者が最も多く（35.3%～50.6%）、なかでも、久米島（50.6%）が最も高い率となっている。

大学生の場合は「ウイスキー」（36.6%）と「ビール」（35.2%）がよく

好まれ、本島の都市部の一般成人の傾向とやゝ類似している。しかし、大学生では「泡盛」は一般成人ほど好まれていない。一般成人の場合は都市部でも「泡盛」は結構好まれている。(項目1参照)

ところで、実際に飲む機会の多い酒や量的に多く飲んでいる酒の種類についての回答をみると、「飲む機会の多い酒」としては一般成人、大学生ともに「泡盛」(25.8%～69.5%/36.6%)をあげ、「ビール」(17.2%～40.6%/28.2%)、「ウイスキー」(8.5%～27.9%/31.0%)と続いている。首位にある「泡盛」を「好きな酒」としてあげた比率と対比させると、一般成人、大学生ともに「好きな酒」よりも「飲む機会の多い酒」の比率が高くなっており、両者にいくらかギャップがみとめられる。その傾向は特に離島地域に強い。このように、全体的な飲酒状況としては好みの問題もあるが、日常的に地酒の「泡盛」を消費する機会が比較的多いことが示唆されている。(項目2参照)

また、量的に多く飲まれている酒とは言えば、一般成人の場合は全般的に「泡盛」(23.7%～61.0%)であるが、地域差がみられる。本島では「ビール」(38.1%～44.3%)が最も多く飲まれ、その傾向は農村部より都市部に濃い。「泡盛」では農村部がやゝ高い率を占めている。一方、離島地域では「泡盛」を飲む者(41.5%～61.0%)が最も多く、続いて「ビール」が高率となっている。とくに「泡盛」を飲む傾向は久米島や宮古では目立って強い。

大学生では「ビール」(38.0%)が一番高い率を示しているが、「泡盛」も30%近くの者が飲んでいると回答している。(項目3参照)

自宅外での飲酒頻度に関しては、一般成人ではどの地域でも「月に1・2回」というのが最も多く(41.2%～75.4%)になっている。離島地域は本島よりも飲酒頻度が比較的高く、「月に3～5回」とか、「月に10回以上」と回答した者が離島地域でやゝ多くなっている。大学生は「月に1・2回」と回答する者がかなり多い(75.2%)。このように、飲酒頻度は大学生よりも一般成人の方が、また、地域別では本島よりも離島地域の方がやゝ高く「人びとのつき合い」の深さやその必要性の高さが飲酒頻度を規定して

飲酒行動に関する心理学的研究 I (中村・国吉・島袋・名城)

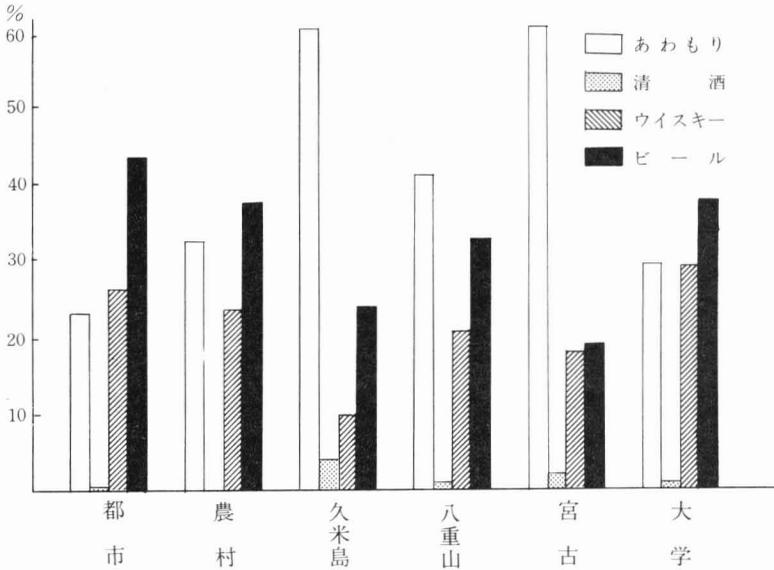


図 2 量的に多く飲んでいる酒

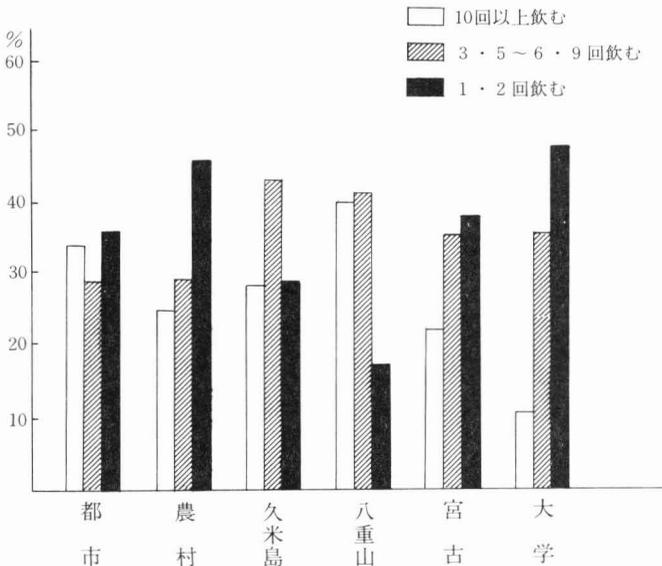


図 3 一月間の飲酒頻度 (自宅)

いるものと解釈される。（項目4参照）

自宅での飲酒傾向に関しても、一般成人の方が大学生よりも頻度が高い。一般成人では「月に1・2回」の回答は久米島や八重山を除いて他地域では最も多い（36.4%～45.9%）。また、大学生の場合も「月に1・2回」というのが最も多く（47.4%）、一般成人よりもやや高い比率を示している。また、「月に6回以上飲む」という比較的頻度の高い回答は一般成人（35.4%～58.0%）が大学生（29.8%）よりも多い。なかでも「月に10回以上飲む」というのは一般成人が目立って多く、とりわけ八重山では40%を占めるほど頻度の高さが際立っている。（項目6参照）

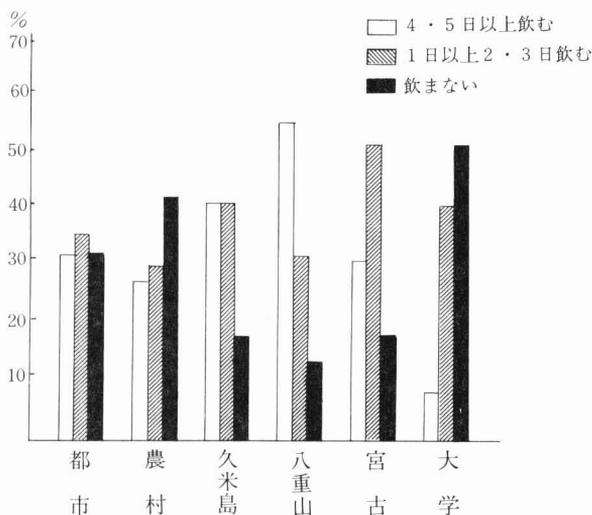


図4 一週間の飲酒頻度

自宅内外を含めた飲酒頻度に関しては、「1週間に1日以上飲む」のが一般成人（57.7%～86.3%）が大学生（50.7%）を上回っている。一般成人の地域別比較では、離島地域（81.9%～86.3%）の方が本島（57.7%～67.7%）よりかなり高い。「1週間に4・5日以上飲む」という回答はとりわけ久米島や八重山で高率となっている（26.5%～28.4%）。他方、「ほとんど飲まない（月に1・2回）」というのは離島地域よりも本島に多く、また、大学生が最も高い率（50.7%）となっている。（項目9参照）

自宅外での飲酒の場所としては一般成人の場合、全体的に「友人、知人宅」（32.0%～57.0%）が最も多く選択され、次いで「バー・キャバレー」（13.4%～29.3%）の順になっている。その他、「親せき宅」（9.8%～17.1%）、「大衆酒場」（4.4%～24.4%）と広範囲にまたがっている。

「知人、友人宅」の回答は本島の農村部と離島地域がとくに高い。なかでも宮古が際立っている。また、離島地域ではそれに次いで、「親せき宅」が選択されており、本島の農村部とともに親しい者同士の付き合いの濃さが反映され、そのなかで飲酒が人間関係の円滑剤として機能していることをうかがわせている。

ところで「大衆酒場」や「バー・キャバレー」等の利用が多いのは離島地域よりも本島で、とりわけ都市部においてであるが、八重山でも両者の利用者は比較的高くなっている。大学生の場合は「大衆酒場」での飲酒が圧倒的に多い（62.9%）。（項目5参照）

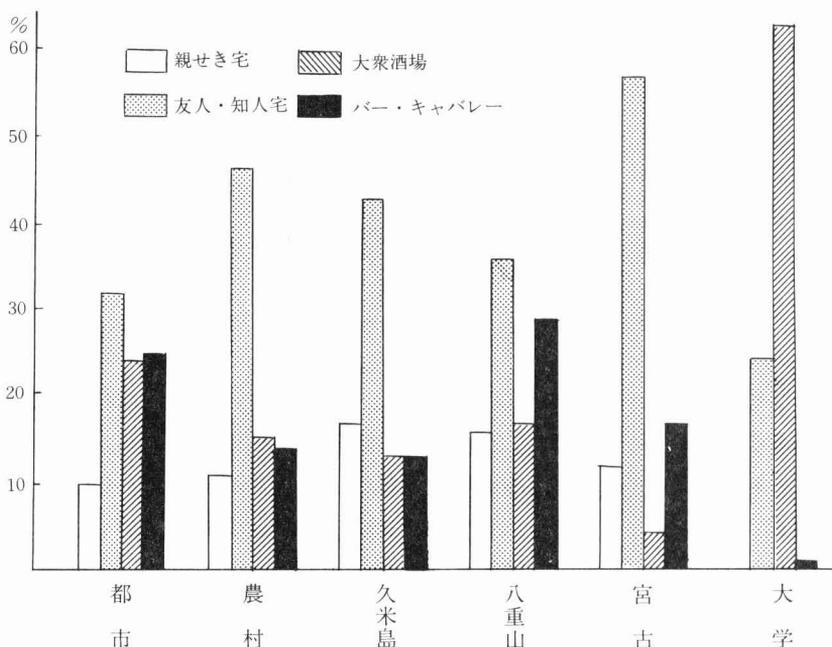


図5 外出時の飲酒場所

飲酒の場合、全体的に集団飲酒の形態をとっているが、一般成人では「2・3人で飲む」（35.9％～44.1％）という比較的少人数で飲む傾向があるのに対し、大学生は「4・5人以上で飲む」（59.2％）の比較的多人数で飲むことが多い。これは一般成人が「知人・友人宅」で、大学生が「大衆酒場」で飲む傾向が強いことと関連して、一般成人は飲酒の相手が親しい者同士に限定されるのに対し、大学生はそれ程限定されることなく、コンパ等で比較的多人数で飲むことが多いことによると考えられる。

また、一般成人の場合、ストレスを生み出し易い都市部では「自分1人で」という「単独飲酒」の傾向が相対的に高い（28.3％）。離島地域では八重山が「単独飲酒」の比率（34.4％）が高いが、その他の地域では「2・3人」とか、「4・5人以上で」という集団飲酒が多く、本島の農村部とともに仲間を形成しての飲酒傾向が濃い。それはとりわけ宮古に於いて強い。（項目7参照）

各月の酒代に関しては一般成人が大学生よりも高額になっており、飲酒頻度の高さからみると当然の傾向である。どの地域でも一般成人は月額5千円以上消費する者が50％～60％を占め、そのなかで月額2万円以上というのが10％～20％いる。大学生では2千円～5千円というのが70％以上を占めている。（項目8参照）

飲酒時に交わすコミュニケーションの内容については、一般成人では地域別を問わず、全体的に「仕事の話」（33.2％～45.9％）が首位を占め、次いで「地域社会の話」（23.1％～32.7％）、そして「職場の話」（11.9％～18.4％）の順になっている。全般的に「家族の話」（1.6％～10.6％）や「政治・経済の話」（0.0％～6.3％）の回答はかなり低率となっているが、前者は「仕事の話」のなかに、後者は「地域社会の話」のなかに包含される形でコミュニケーションが行なわれ、そのために回答のなかに表面化しなかったのかも知れない。いずれにせよ、飲酒時のコミュニケーションの内容としてはマクロな話題よりも個々人の生活に密着した比較的ミクロな話題に集中していることがわかる。

一方、大学生においては学生生活に関する話題が多くなるのか、回答で

は「その他」（54.7％）の項目に集中している。次いで「地域社会の話」（21.9％）の回答も比較的多い。（項目37参照）

飲む酒に合致する食事としては一般成人は「琉球料理」（35.1％～62.5％）と「和食」（17.5％～42.5％）を選択する傾向が強いが、そのなかで、本島の都市部では「和食」の方に、農村部や離島地域では「琉球料理」に傾斜している。とくに久米島や八重山での「琉球料理」の回答が50％を越えている。大学生の場合は「琉球料理」という回答はかなり低く（8.7％）、その代り、「和食」（43.5％）に傾き、「洋食」（21.7％）、「その他」（20.3％）の順になっている。

このように、飲酒時に選択される食事は一般成人と大学生の間に、また地域別では都市部と農村、離島地域の違いがあるが、それは各々の好みの酒や多く飲む酒の違いに依るものと考えられる。すなわち、一般成人の場合は飲酒習慣が形成されて、飲む酒が「ビール」や「泡盛」にほぼ限定され、それが「琉球料理」や「和食」の選択を促している。また、大学生の場合は飲酒習慣が未だ形成されておらず、「ビール」や「ウイスキー」「その他」等、飲む酒が分散しているため、「和食」、「洋食」等が選択されている。さらに、地域別比較では、都市部では「ビール」が、農村、離島地域では「泡盛」が最も多く飲まれていることが、前者では「和食」の方へ、後者では「琉球料理」の方へ傾斜させていると考えらる。（項目38参照）

飲酒の際に音楽はある方がいいか否かに関して、一般成人、大学生ともに「あった方がいい」と肯定的に回答した者が多い（70.7％～84.1％／80.0％）。一般成人の地域別比較では肯定的回答に地域差がほとんど認められない。（項目39参照）

その時の好きな音楽とは言えば、一般成人では「演歌」（50.6％～88.1％）が首位を占め、次いで「琉球民謡」（8.3％～46.8％）をあげている。両者で85％以上の選択率であり、飲酒時の好きな音楽としてはこの2つに限定されてくる。なかでも、宮古の「演歌」好みは目立ち、かなり高い比率（88.1％）となっている。

それに対し、大学生では「ポピュラー・クラシック」(39.1%)が第1位、「ジャズ・ロック」(23.2%)、「演歌」(23.2%)と続き、好まれる音楽は広範囲に及んでいる。一般成人で比較的高い率を示している「琉球民謡」は大学生ではほとんど選択されていない(2.9%)。このように、とくに一般成人と大学生の間に飲酒時の音楽の好みの違いがみられるが、これは各々の飲む酒の選択の違いに依るものと考えられる。(項目40参照)

2) 飲酒動機と飲酒習慣

(a) 飲酒動機

飲酒行動は種々な心理的要因によって規定されると予想されるが、その主要因として挙げられるのが飲酒理由である。沖縄社会における飲酒理由はどのような特徴を有しているのであろうか。

まず、現在の飲酒理由について触れる前に初飲時の飲酒理由について述べ、初飲時から現在の飲酒理由の変化について述べていくことにする。

「酒を飲み始めた当時の飲酒理由」(項目13)で、最も多いのが「付き合いで仕方なく」(38.6%~64.6%)であり、次いで「人間関係の促進」(10.6%~24.4%)である。この2つの理由はともに対人的側面の飲酒を示しているが、飲酒に対する評価の相対立する2側面を示しているものと思われる。すなわち、沖縄社会では、対人的理由から飲酒を覚えるようになるが、飲酒そのものに対しては比較的消極的であったことが示唆されている。それに対して、飲酒の結果に重大な影響をもたらす「ストレス解消のため」の飲酒は初飲時には少ないという結果にある(1.4%~13.8%)、地域別に検討すると、「付き合いのため仕方なく」という飲酒理由は、八重山(46.7%)、宮古(64.6%)、本島農村部(45.8%)で強調され、離島地域、本島農村部は比較的消極的な形で、周囲の人々に誘われて飲酒を始めることを示唆している。初飲当時の「ストレス解消」のための飲酒は、本島都市部(13.8%)、農村部(10.3%)、そして久米島(11.1%)において見られている。

このように初飲時の飲酒行動は、人間関係を意識した比較的消極的理由

が主である。それでは、初飲時とは違い、現在の飲酒理由にはどのような特徴があるだろうか。

初飲時の飲酒理由に対する質問とは異なり、現在の飲酒理由については、3つの理由を選択するように求めたが、3つの理由を指示通りに選択しない人が多かった。従って現在の飲酒理由は%による地域間の厳密な比較が出来ず、大まかな傾向を把握するにとどめることをことわっておく。

図6は初飲時の飲酒理由と現在の飲酒理由を比較したものである。初飲時の飲酒理由に対して、現在の飲酒理由に顕著なものに「ストレス解消」(20.0%)のための飲酒の増加がある。そして、初飲時には「つき合いのため仕方なく」酒を飲んでいたのが、現在の理由としては減少し(29.0%)、

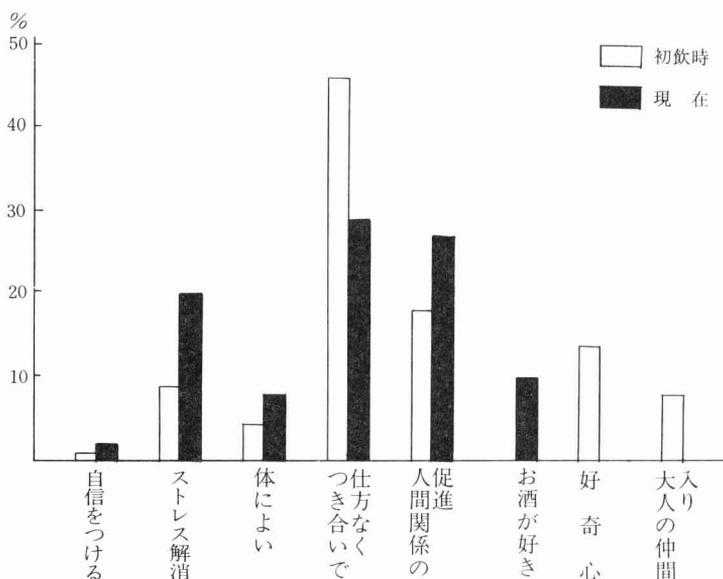


図6 飲酒理由の変化

逆に、「人間関係の促進」という理由が増加している(27.0%)。すなわち、初飲当時はどちらかというと消極的飲酒であったのが、人間関係の促進という積極的飲酒へと変化してきている。現在の飲酒理由を地域別に検討してみると、本島都市部で顕著なものに「ストレス解消」がある(25.0

%)。そして大学生にも「ストレス解消」のための飲酒が多い(23.0%)。本島都市部にストレス解消のための飲酒が多いという結果は、都市化にともなう社会変動や複雑な対人関係などを反映したストレスが多いということを示唆し、大学生では、テストやレポートの作成等にもなうストレスの存在をうかがわせている。「つき合いで仕方なく」という飲酒理由は、宮古(42.0%)、本島農村部(30%)に多い。このような結果は、概して都市よりも農村で「集団的飲酒」が特徴的であることを反映していると思われる。八重山で顕著な飲酒理由に、「お酒が好きだから」(14.0%)と「体によい」(10.0%)というのがある。この結果は項目6や項目9の結果に示される自宅での飲酒頻度が八重山に多いということから、八重山ではいわゆる「晩酌」飲酒が多いことを示唆している。また、項目19や項目20の結果に示されるように、八重山では「食事中」に軽い酒や強い酒を飲む人が多いということも、八重山での「晩酌」飲酒の存在をうらづけている。

一般的な飲酒理由の認知も、先に示した現在の飲酒理由の特徴を反映している。すなわち「人は何故酒を飲むと思うか」という質問(項目15)に対して、全体的には「人間関係の促進」(27.7%)、「ストレス解消」(23.9%)、「つき合いのため仕方なく」(22.6%)と答えた人が多い。すなわち、飲酒の持つ社会的側面と個人的側面が強調されている。地域別では、本島都市部と農村部に「ストレス解消」のために人は酒を飲むと答える人が多く(27.0%、27.1%)、八重山、宮古において「つき合いのため仕方なく」人は酒を飲み(31.4%、38.7%)、また「人間関係の促進」のために人は酒を飲むと答えている(29.1%、34.2%)。このような結果も、先に述べたように、離島地域より本島都市部、農村部に、種々な形でのストレスが多く、逆に、離島地域には、地域の人間関係の親密さに基づく「集団的飲酒」が特徴的であることを示唆している。このように、沖縄社会における飲酒理由の特徴として、对人的側面が強調されるが、特に離島地域でその傾向が強いということを示している。

(b) 習慣的飲酒

ここでは、飲酒の主な時間帯、時間幅、そして飲酒と食事の関連、およ

び外出飲酒の特徴について述べていくことにする。

まず全体的に検討すると、酒を飲む時間帯で最も多く選択されたのは、「PM7:00～PM10:00」（22.5%～58.7%）であり、次いで「PM10:00～PM12:00」（24.8%～50.7%）である。すなわち、多くの人々が昼間の仕事を終え、一息ついてから飲酒を始めるという常識的傾向を示している。地域別に検討すると（項目17）、特徴的なのが宮古において「その他」を選択したのが比較的多い（14.2%）。この結果は、PM5:00以前の農作業などのあい間に軽く酒を口にすることを示しているのであろうか。一般成人の飲酒時間として、「PM7:00～PM10:00」が大半を占めているが、大学生では「PM10:00～PM12:00」が大半を占めている（50.7%）。この差異は、一般成人が「明日の仕事」を意識して飲酒時間を選択し、同時に飲酒機会も多いということを反映し、それに対して大学生は主にコンパや親睦会が退けた後の二次会でよく飲むということ、そして、大学生の飲酒機会が少なく、その分時間的に飲酒が長くなることなどと関係していると予想させる。

このような飲酒の時間帯は、飲酒時間の長さにも関係していることが考えられる。「飲み始めてから飲み終るまでの時間は」という質問（項目18）に対して、全体的に検討すると、最も多く選択されたのは「3時間以上」（28.9%～56.8%）であり、次いで「2時間～3時間」（21.2%～29.4%）となっており、沖縄社会では比較的長時間に渡って酒を飲み続ける傾向のあることを示している。特に、宮古（56.8%）、大学生（49.3%）、久米島（39.0%）は、「3時間以上」を選択する人が多い（図7参照）。このように、比較的長時間に渡るという結果から、それも、本島都市部より離島地域で飲酒時間が長いということから、沖縄社会では「個人飲酒」よりも「集団的飲酒」が多いということが示唆される。社会的、对人的連繫を強調する「集団的飲酒」は、本島都市部よりも地理的範囲の狭い離島地域で根づよいものと思われる。尚、大学生に長時間飲酒が多いという結果は先に述べたように、大学生の飲酒が「二次会」を中心としたものであることを示唆している。

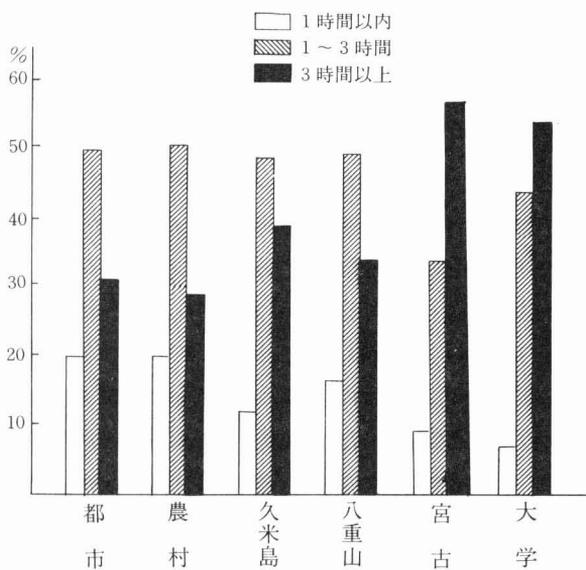


図7 飲酒時間の長さ

上に示した「集团的飲酒」という飲酒行動の特徴は、「きまった飲み仲間がいますか」（項目25）という質問の結果からもうかがい知ることができる。すなわち、全体的に検討した場合、60%の人がきまった飲み仲間が「いる」と答えている。そして、その飲み仲間は「友人」（53.2%）であり、また「職場の同僚」（28.9%）であることが多い（項目26参照）。この飲み仲間の存在や、どのような関係の飲み仲間であるかについては、それほど地域差は顕著でない。

対人的理由を飲酒の主動機とし、かつ集团的飲酒形態を主な特徴とする沖縄社会の飲酒行動は、「食事習慣」とどのように関連しているであろうか。

「ビール・ワインなどの軽い酒」の飲酒は、「食前」（39.4%～47.4%）に行なわれ、また「食後」（32.9%～46.7%）にも行なわれている。それに対して「食事中」の軽い酒の飲酒は少ない（2.6%～20.0%）（項目19参照）。このような結果は、軽い酒がアピタイザーとして好まれ、また、軽

い酒の飲酒から次第に強い酒の飲酒に移っていく飲み方を反映しているものと予想させる。そして、「食後」に軽い酒の飲酒が多いということは、寝苦しい熱帯夜の多い沖縄の気候に応じて、「寝酒」の習慣の存在を示唆しているものと考えられよう。そして、軽い酒の飲み方と食事の関係は比較的地域差が少ないという結果にあった（項目19参照）。それでは、強い酒（あわもり、ウイスキー）を飲む場合は食事とどのように関連しているであろうか。軽い酒の飲み方と異なり、強い酒は圧倒的に「食後」に飲まれることを示す結果にあった（55.3%～92.6%）。このように強い酒が、「食後」に飲まれるということは、「すき腹に強い酒は体に毒」だという飲酒習慣が成立し、かつ、先に示したように沖縄社会では、飲酒時間が深夜まで続くということに関係していると思われる。地域別に検討すると、強い酒の「食後」の飲酒は大学生が92.6%と圧倒的に多いが、これは大学生に「強い酒は食後に飲む。」という飲酒習慣が成立していると思なすよりも、大学生の飲酒時間帯の特徴を反映していると思なした方が妥当であろう。項目2、項目3で宮古は「あわもり・ウイスキー」を飲む機会が多く、かつ実際によく飲んでいるという結果にあったが、大学生に次いで高率で「食後」に飲むと答える人が宮古に多い（78.7%）。しかし、八重山は、「食後」を選択した人が比較的少なく（55.3%）、逆に「食前」（30.6%）、「食事中」（14.1%）と答える人が多い。この結果は先に示したように「晩酌」飲酒が八重山で比較的多いということを示唆している。

それでは、「酒を飲みみにバー・キャバレー・大衆酒場などへ出かける時は、どのようにしているであろうか（項目21参照）。全体的に検討すると「職場から直行する」と答える人は29.1%と少なく、「帰宅してから出直す」（59.1%～98.5%）と答える人が多い。しかし、本島都市部（32.5%）、農村部（38.0%）は、「職場から直行する」と答えた人が比較的多いが、この結果は本島は地理的範囲が広く、帰宅して出直すことが困難であることを示していると思える。「帰宅してから出直す」という全体的特徴は、先に示したように、飲酒の時間帯が比較的遅いこと、そして、通勤に自家用車を利用していることなどが関係しているであろう。

また、飲みに出かける時は、「自分から人を誘う」(8.5%～26.4%)よりも「人に誘われる方である」(73.6%～91.5%)と答える人が多い。この結果は項目5の「外出時の飲酒場所」の結果、つまり、大学生を別として一般成人は圧倒的に「友人・知人宅」で飲むことと一致している。すなわち、本島都市部、八重山、大学生を別として、沖縄では「バー・キャバレー・大衆酒場」へ飲みに出かけることが少ないようである。特に宮古、大学生は、人から誘われてはじめて飲酒のために外出することを示している(項目41参照)。

(c) 宴会飲酒

先に飲酒行動の個人生活的側面を示す習慣的飲酒の特徴とその地域差について述べてきた。その中で沖縄社会では集团的飲酒形態が顕著であることが明らかにされたが、この集团的飲酒は、宴会や会合での飲酒と深く関係しているものと予想される。

「宴会や会合などの集まりでお酒を飲む機会は月にどのくらいありますか」という質問に対して、最も多いのが「1・2回」である(59.1～73.5%)。特に大学生は「1・2回」と答える人が多く(73.5%)、大学生は一般成人より宴会飲酒が少ないことを示している。月に「4・5回」と答えた人は、全体で14.6%と少ないが、しかし、離島地域は「4・5回」と答える人が本島より多く(15.0%～26.4%)、宴会や会合での飲酒という集团的飲酒が離島地域に多いことを示している(項目27参照)。

宴会での飲酒機会が離島地域に多く見られることは、人間関係の親密さを反映するものと考えられるが、それでは「どのような種類の宴会・会合」での飲酒になるのであろうか。

「どのような集まりの宴会・会合などで酒を飲むことが多いですか」(項目28)という質問に対して、全体的に検討すると最も多いのが、「友人の集まり」(37.0%)であるが、この結果は大学生の87.0%という結果に左右されており、実質的には「職場の集まり」(29.7%～44.9%、大学生1.4%)が最も多いことになる。地域別に検討していくと、本島都市部、農村部は「友人の集まり」と答える人が多く(39.0%、30.8%)、八

重山、宮古は「職場の集まり」と答える人が多い（44.9%、40.5%）。「地域の集まり」や「家族・親族の集まり」での飲酒は全体的に少ない（6.6%、17.8%）が、久米島は他地域より高率で「地域の集まり」（21.6%）と答えており、また「家族・親族の集まり」と答える人は離島地域（20.3%～22.5%）に多い傾向を示している。すなわち、離島地域はそれだけ親族や地域に基づく人間関係の親密さを反映した飲酒を行なうことを示唆している。

このような宴会や会合において、実際どの程度の飲酒量を示すかについては今回の調査からは明らかでないが、「宴会や会合でどの程度飲んでいますか」（項目29）という質問に対して、「酔わないようにさしひかえる」（37.1%～54.4%）と答える人が「酔うぐらい飲む」（32.4%～57.8%）と答える人を若干上回るという結果にある。しかし、この回答には地域差が顕著であり、本島都市部や農村部は、地理的に広範囲の集まりや、交通事情などと関係しているのか「酔うぐらい飲む」と答える人が少ない（35.4%、32.5%）。それに対して離島地域は「酔うぐらい飲む」と答える人が多く、特に宮古、八重山は高率で「酔うぐらい飲む」と答えている（50.4%、57.8%）。同じく大学生も「酔うぐらい飲む」（49.3%）と答えているが、これは日頃、飲酒機会が少ないことから解放感が強いことを示していると思われる（図8参照）。

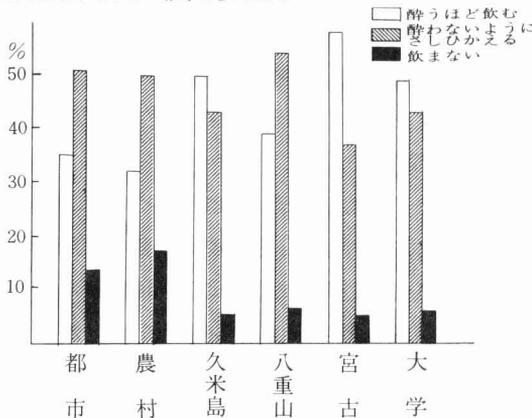


図8 宴会での飲酒程度

「二次会がある時にはどうしますか」（項目30）という質問に対しては、「参加する」と答える人が多く（68.8%～82.6%）、それほど地域差は顕著ではないが、大学生、八重山、宮古では他地域より二次会に「参加する」と答える人が多い（73.6%～82.6%）。先に、酒を飲んでいる時間が大学生と離島地域に多いことを述べたが、飲酒時間の長さは二次会への参加に関係していると考えられよう。また、宴会や会合での飲酒傾向と同じように、大学生と離島地域は二次会でも「よく飲む」（62.7%～73.9%）傾向にあることを示している（項目31参照）。

以上に述べてきたように、沖縄社会では、宴会や会合での飲酒機会や、飲酒量の多いことが推測される。

(d) 飲酒の結果について

先に述べた飲酒理由は飲酒行動の動機づけの側面に関係しているが、ここでは、飲酒理由、飲酒習慣の結果を受けて、沖縄社会における飲酒行動のもたらす、個人的、社会的影響について考察する。

「お酒を飲み過ぎて健康を害したことがありますか」（項目22）という質問に対して、全体的に検討すると、最も多いのが「2日酔い」であり（42.7%～58.0%）、「医者の治療を受けたことがある」と答えた人は少ない（6.1%～13.2%）。先に、飲酒量が離島地域で多く、また飲酒時間も長いという結果にあることを示したが、このような傾向を反映し飲酒効果には地域差が見られる（図9参照）。すなわち、離島地域には「2日酔い」があると答える人が多く（52.2%～58.5%）、また、宮古は「医者の治療を受けたことがある」と答える人が他地域より多い（13.2%）。また、項目3の結果にも見られるように、離島地域は比較的強い酒を飲む機会が多いというのもその一因であろう。

また、2日酔いを反映し、「仕事」を休むことも離島地域の特徴となっている。（項目23参照）。すなわち仕事を休むことが「よくある」と「たまにある」を合計してみると、本島都市部29%、本島農村部23.3%となっているが、離島地域は、久米島32.1%、八重山34.1%、宮古39%となっている。大学生の場合は、仕事を休むというよりは、講義を休むことに

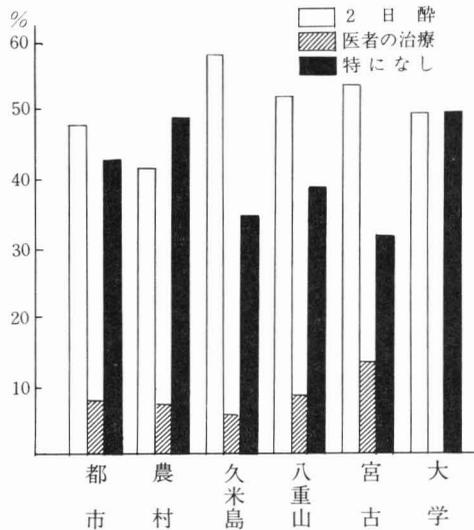


図9 飲酒と健康

なるが、社会的影響が少ないことを反映し、「よくある」と答える人が多いという結果にある(11.6%)。酒を飲み仕事を休むということには、このように若干の地域差があるが、しかし、全体的に検討してみると「ほとんどない」が29.2%、「全くない」が40.8%となっている。

それでは、飲酒のもたらす、对人的、社会的側面はどのような結果にあるだろうか。「酒に酔ってトラブルを起したことがありますか」(項目24)という質問に対して、一般成人の場合は、「家族とのトラブル」を挙げている(23.9%~40.4%)。酔うことが多いせいか、離島地域に多いのが特徴となっている(31.9%~40.4%)。「友人や仕事仲間とのトラブル」では、本島農村部(19.4%)、八重山(18.4%)、大学生(19.4%)となっている。「親、隣近所とのトラブル」は、全体的に少なく(2%)、また「警察の世話になるトラブル」も少ない(2.6%)が、しかし大学生に8.1%に若干気になる結果を示している。しかし、このような地域差は、本島都市部、農村部、久米島、大学生に「無記入」者が多く(52.3%~71.0%)、本来の地域差を示しているかどうか疑がわしいところがある。

3) 飲酒行動に対する認知及び評価

沖繩住民は日常の生活に酒をどの程度必要と認知しているのだろうか。「あなたの日常の生活に酒はどの程度必要か」(項目16)の質問に対する5つの選択肢を「ある方がよい」と「ない方がよい」の二極に分けまとめてみると、一般成人は全体的にかなりの高率(85.3%～92.4%)で酒の必要性を認めている。この傾向は、大学生(84.5%)にもほぼ同様に見られる。また、地域間の比較において、本島地域(85.3%～85.5%)に比べ離島地域(88.7%～92.4%)はその必要性を強く認めている。離島地域の中で八重山がもっとも強く認めている。全体的に酒の必要性を認めているが、酒は生活に役立っているのだろうか。「酒はあなたの生活に役立っているか」(項目33)の質問に対し、「役立つ」と「多少役立つ」の選択肢を加算した回答率から見ると、一般成人全体においては強力ではないが役立つ方向(51.8%～71.1%)で受け止めている。一方、大学生は一般成人に比べ役立つ方向での肯定的回答率は低かった(47.8%)。また、地域間の比較で見ると本島地域(平均値で60.0%)に比べ離島地域(平均値で63.7%)が若干高く役立つ方向で肯定的に受け止めている。離島地域では八重山がもっとも強く(71.1%)役立つと認知している。逆に、酒は生活に「邪魔になっている」の選択肢への回答では宮古がもっとも高い(10.9%)。

一般成人にとって、気楽に酒の飲める場所は、「自宅・親戚宅」(57.4%～69.2%)、「友人宅」(3.3%～20.0%)、「大衆酒場」(6.3%～13.8%)の順になっている。これに対し、大学生は「大衆酒場」、「友人宅」、「自宅・親戚宅」の順で一般成人の逆になっている。本島都市部に比べ、本島農村部や各離島地域の人々は「自宅・親戚宅」、「友人宅」等の私的な場所で気楽に飲む傾向があり、逆に、都市部の人々は他の地域の人々に比べ、「大衆酒場」「バー・キャバレー」等の共有的な場所で飲む傾向が見られる(項目34参照)。

一般成人が認知している酒の持つ最大の利点について見ると、本島、離島の各地域とも「つき合いをよくするため」、「ストレス解消に役立つ」

の2選択肢を他の選択肢に大差をつけて上位にあげ、次に「欲求不満解消になる」の順に酒の利点を認知している。本島と離島の各地域や大学生が、上位2選択肢をどのような割合で選択しているかを示したのが図10である。

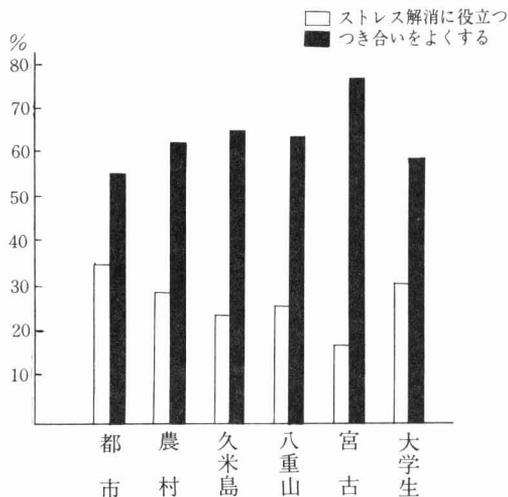


図10 各地域と大学生の酒の利点についての比較

図10から、都市部では他の地域に比べ酒の利点として「ストレス解消に役立つ」を若干強く認知し、都市部以外の他の地域においては逆に都市部に比べ「つき合いをよくする」の利点を強めに認知する傾向がある。とりわけ宮古はその傾向が強い（項目42参照）。「酒の持つ最大の欠点はどのような事か」（項目43）の質問に対して、一般成人全体としては「健康を害する」、「社会に迷惑をかける」、「金がかかる」の順に酒の欠点を認知している。宮古（31.7%）は、他の地域（23.3%～27.9%）に比べ「社会に迷惑をかける」を強めに認知している。一方、大学生は「金がかかる」、「健康を害する」、「社会に迷惑をかける」の順に酒の欠点を認知している。大学生の社会的地位、役割等からして相当な結果だと思われる。なお、酒の欠点として「人間関係を悪化させる」と認知する者は極めて少なかった。

さて、「宴会や会合での席で酒に酔った上でのトラブルが多く見うけら

れるか」(項目33)の質問に対し、一般成人、大学生ともに「少ない方だと思う」の回答が最も多い。この傾向は、本島地域(80.6%~86.6%)や大学生(78.3%)に比べ離島地域(87.1%~91.7%)で強く見受けられている。逆に、「かなり多い」と「ある程度トラブルがある」を加算した回答率では、本島地域(13.4%~18.3%)が離島地域(8.4%~12.9%)より若干高い。また、「周りに度を越して酒を飲む人がいるか」(項目36)の質問に対して、全体的に、一般成人、大学生ともに「少ないと思う」と認知している。「多いと思う」の認知では本島地域より離島地域でやや強くなっている。ここで、項目33と関連する飲酒形態を宴会飲酒と名づけ、一方、項目36と関連する飲酒形態を近隣飲酒と名づけ、両項目を関連づけて本島と離島間で両飲酒形態上のトラブルの発生状況を見たのが表6である。表6から、本島では離島に比べ宴会飲酒でのトラブルが多く、逆に、離島では、本島に比べ近隣飲酒上のトラブルが多いと認知されていることがわかる。

表6 飲酒形態によるトラブル発生の比較(%)

地 域	飲 酒 形 態	ト ラ ブ ル	
		多 い	少 ない
本 島	宴 会 飲 酒	15.8	83.6
	近 隣 飲 酒	22.0	78.0
離 島	宴 会 飲 酒	10.2	89.8
	近 隣 飲 酒	28.5	71.0

次に、「飲酒人口は年々増加していると思うか」(項目44)に対して、「かなり増加」と「いくらか増加」を加算した回答率で見ると、一般成人、大学生ともに高率(86.7%~95.1%)で増加していると受け止めている。また、「酒に酔って問題を起す人が増えてきていると思うか」(項目45)に対しても、一般成人、大学生ともわりと高率(62.8%~87.6%)で増加していると認知している。ここでも両項目を関連させて、各地域ごとに飲

酒人口と問題飲酒者について「増加している」と認知される比率を整理し示したのが図11である。図11から、飲酒人口と問題飲酒者の増加の比率が

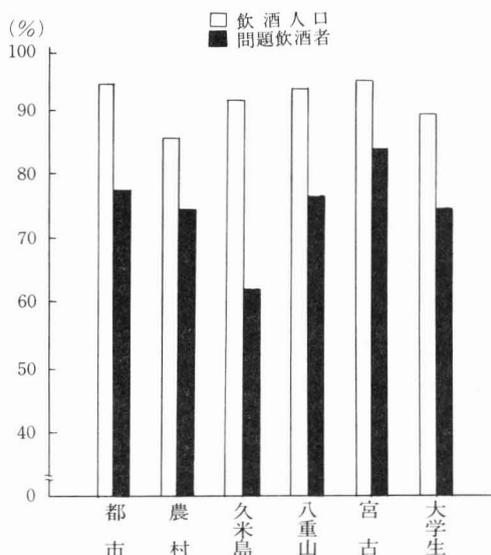


図11 各地域と大学生における認知された飲酒人口と問題飲酒者の比較

もっとも接近しているのは宮古、本島農村の順になっている。逆に、飲酒人口と問題飲酒者との比率にもっとも差が見られるのは久米島、八重山である。

沖縄における「飲酒者に対する社会の態度は」（項目46）の質問で、社会の態度及び評価を求めたところ、一般成人の場合、どの地域においても「大目に見ている」の回答率（46.3%～53.6%）が高く、次に「ルーズである」（35.7%～45.2%）、「きびしい」（5.5%～12.5%）の順になっている。「あなたの周りで未成年者の飲酒は見られるか」の質問（項目47）に対して、「たまに見られる」と「よく見られる」を加算した回答率と「ほとんど見られない」の回答率を比較すると、都市部では「見られる」との回答率（49.0%）より若干「見られない」の回答率（51.0%）が高い。そ

他の地域においては、「見られない」(23.0%～44.4%)よりも「見られる」(55.5%～77.0%)の回答率が高い。さらに、大学生は「見られる」の回答率(90.0%)が高い。

沖縄の一般成人は、日常生活での酒の必要性を積極的に認めている。このような認知に基づいてか、沖縄の飲酒人口も年々増加していると捉え、さらに酒に酔って問題を起す人々も増えてきていると受け止めている。このような認知傾向と、沖縄の社会的状況(特に風俗営業所等の増加)、酒類の消費動向の増加的变化、飲酒者へのルーズな社会的態度、未成年飲酒者の増加等と考え合わせると、今後本県においても飲酒にまつわるネガティブな社会問題が発生することを否定できない。今のところ、飲酒理由を「つき合いのため」、「人間関係の促進のため」とし、飲酒の利点を「つき合いをよくする」と認知しているので、即刻に社会問題が発生するとは思えない。しかしながら、飲酒理由や飲酒の利点が現在のそれらから、それぞれ「ストレス解消のため」「ストレス解消に役立つ」に転換する時が、もっとも危惧される時期だと思われる。このような心配される問題に対し、社会的対応策もすすめながら、個人レベルでは個人の過去経験からの方策やあらゆる方法で適性な飲酒の仕方を考えていくべきである。

IV 要 約

本研究では飲酒行動に関する心理学的研究として、飲酒の実態や動機、飲酒習慣、飲酒行動に対する認知・評価の側面から質問紙調査が実施された。大学生を含む沖縄県内在住成人811人を対象として1983年2月～5月に調査が行なわれ、その結果に対して一般成人と大学生の比較及び一般成人の在住地域別比較を行いながら基礎的分析がなされた。主な結果は次のとおりである。

1) 飲酒の実態

- ①最も好まれている酒は一般成人は全体的に「泡盛」、次いで「ビール」

となっているが地域差があり、本島の都市部では「ビール」志向、農村部や離島地域では、「泡盛」志向となっている。なかでも久米島の「泡盛」志向は目立つ。大学生では「ウイスキー」や「ビール」が好まれている。

②実際に多く飲まれている酒は本島の一般成人と大学生では「ビール」が首位を占め、「泡盛」が続いているが、離島地域の一般成人では「泡盛」、「ビール」の順になっている。とくに「泡盛」を飲む傾向は久米島や宮古において強い。しかし、全体的な飲酒状況としては地酒「泡盛」の消費の機会が多いことがみとめられる。

③自宅外での飲酒頻度は全般的に「月に1・2回」の回答が最も多いが、大学生よりも一般成人が、地域別では本島よりも離島地域が飲酒頻度は比較的高い。自宅内での飲酒頻度に関しても全般的にほぼ類似した傾向がみられる。

④飲酒場所としては一般成人では主に「友人・知人宅」が選択され、次いで「バー・キャバレー」となっている。「友人・知人宅」はとりわけ本島の農村部と離島地域、とくに宮古で選択度が高くなっている。その他「親せき宅」というのも農村部、離島地域でやゝ高率になっている。大学生では「大衆酒場」が圧倒的に多い。

⑤飲酒の際は全般的に「集団飲酒」の傾向が強いが、一般成人では「2・3人で」の比較的少人数で飲酒するのに対し、大学生は「4・5人以上」の多人数で飲酒する傾向がみられる。一般成人でも本島の農村部や離島地域では相対的に多人数での飲酒傾向を示しているが、とくに宮古に於いてその傾向が強い。また、「単独飲酒」は本島の都市部、離島の八重山で幾分多くなっている。

⑥飲酒時のコミュニケーションの内容は全般的にどの地域でも「仕事の話」や「地域社会の話」等の個々人の生活に密着した話題に傾斜している。

⑦飲む酒に合致する食事としては一般成人が「琉球料理」と「和食」を選択する傾向が強いが、本島の都市部では「和食」の方が、農村部や離島地域では「琉球料理」が比較的选择され易い。大学生では「和食」に傾き、

ついで「洋食」となっている。

⑧ 飲酒時の好みの音楽は一般成人ではどの地域でも「演歌」が最も好まれ、次いで「琉球民謡」となっている。なかでも宮古の「演歌」好みは目立つ。大学生では「ポピュラー・クラシック」や「ジャズ・ロック」、
「演歌」の順に広範囲に及んでいる。

2) 飲酒動機と飲酒習慣

①初飲時の主な飲酒理由は、対人的理由が大部分であるが、しかし、「つき合いのため仕方なく」という消極的飲酒理由となっている。

② 現在の飲酒理由も、主に対人的理由であるが、初飲時とは異なり、「つき合いのため仕方なく」という飲酒理由が減少し、逆に「人間関係の促進」という飲酒理由が増加しより積極的飲酒理由となってきている。同時に「ストレス解消」飲酒も増加している。

③飲酒の時間帯は、「PM7:00～PM8:00」が最も多く、次いで「PM10:00～PM12:00」となっており比較的夜遅くまで飲酒をしていることを示している。

④きまった飲み仲間がいると答える人が多く、個人飲酒ではなく集団的飲酒という飲酒形態を示している。

⑤軽い酒は、アピタイザー、または、寝酒として利用されることが示唆され、強い酒は食後によく飲まれることから比較的適切な飲酒習慣が成立していることが予想される。

⑥外出飲酒、すなわち飲みバー、キャバレー、大衆酒場に出かけることには消極的であり、人から誘われてはじめて飲みに出かける傾向が示唆される。

⑦宴会での飲酒機会は月に「1・2回」と答える人が多いが、離島地域は「4・5回」と答える人が他地域より多い。

⑧宴会での飲酒量は、本島都市部と農村部が少なく、地理的範囲の狭さ、人間関係の親密さを反映して、離島地域は飲酒量が多いことを示唆している。

⑨飲酒のもたらす個人的結果としては、「2日酔い程度」が多く、飲酒量の多いことを示唆している離島に「医者の治療を受けたことのある」人が若干目立つ。

⑩また、酔いにまかせた対人的・社会的トラブルは、「家族とのトラブル」が多く、特に飲酒量の多いと思える離島地域に目立つ傾向にあった。

3) 飲酒行動に対する認知及び評価

①沖縄住民の一般成人及び大学生は日常生活において、酒の必要性を「ある方がよい」と積極的に認知している。このような傾向は離島地域において強い。また、積極性の点ではやや劣るが、一般成人の場合、酒は生活に役立つと認知している。大学生は、この点については消極的に受け止めている。

②一般成人にとって、気楽に酒の飲める場所は「自宅・親戚宅」である。しかし、都市部は他の地域に比べ「大衆酒場」、「バー・キャバレー」等の共有的な場所で飲み、他の地域は都市部に比べ「自宅・親戚宅」、「友人宅」で飲む傾向がある。

③一般成人が認知する酒の持つ最大の利点として、「つき合いをよくするため」と「ストレス解消に役立つ」をあげている。逆に酒の欠点として、「健康を害する」、「社会に迷惑をかける」をあげている。

④一般成人、大学生とも飲酒人口は年々増加していると認知し、さらに酒に酔って問題を起す人も増加していると受け止めている。

⑤飲酒者に対する沖縄の一般成人の態度や評価は、「大目に見る」というやや寛大なものである。しかし、飲酒者に対し、「ルーズである」と、批判的・拒否的態度をとる人々もいる。また、周りに未成年者の飲酒が見られると受け止めている。

参考文献

- ① 沖縄県立精神衛生センター「精神衛生センター所報」1981年
- ② 国吉和子「沖縄における飲酒の実態とアルコール関連問題－復帰後の統計の分析を中心に－」、『沖縄大学紀要』第3号（通巻24号）1983年
- ③ 名城嗣明、中村完、島袋恒男、国吉和子「飲酒行動に関する心理学的研究①」
沖縄心理学研究6号、1983年
- ④ 名城嗣明、中村完、島袋恒男、国吉和子「飲酒行動に関する心理学的研究②」
沖縄心理学研究6号、1983年
- ⑤ 西川瀧八、額田繁、上野佐共編『日本の飲酒を考える』医学書院、1975年
- ⑥ 余暇開発センター『現代社会における飲酒行動に関する研究』、1977年
- ⑦ 宮里勝政編「アルコール症」、『現代のエスプリ』No.144、経文堂、1979年
- ⑧ 山梨県精神衛生センター『山梨県明野村における飲酒実態調査－中間報告－』
1981年

〔付録〕 調査用紙と応答分布 (%)

項目 1. あなたの一番好きなお酒を 次の中からひとつ選んで下 さい。	一 般 成 人					大 学 生	計
	都 市	農 村	久 米 島	八 重 山	宮 古		
イ. あわもり	21.0	29.8	50.6	35.4	35.3	11.3	29.2
ロ. 清 酒	3.9	0.0	4.9	2.1	3.4	4.2	2.8
ハ. ウイスキー	27.1	29.3	18.5	28.1	33.6	36.6	28.7
ニ. ビール	41.5	29.8	23.5	29.2	19.8	35.2	31.5
ホ. ワイン	3.5	7.8	2.5	1.0	4.3	5.6	4.5
ヘ. その他	3.1	3.4	0.0	4.2	3.4	7.0	3.4
項目 2. あなたが現在主に飲む機会 (回数) の多いお酒をひと つ選んで下さい。							
イ. あわもり	25.8	31.9	69.5	44.2	57.8	36.6	39.6
ロ. 清 酒	0.9	0.0	3.7	1.1	1.7	2.8	1.3
ハ. ウイスキー	27.9	25.5	8.5	21.1	22.4	31.0	24.0
ニ. ビール	40.6	36.3	18.3	30.5	17.2	28.2	31.5
ホ. ワイン	2.6	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6
ヘ. その他	2.2	2.9	0.0	3.2	0.9	1.4	2.0

項目 3. あなたが現在、量的に最も多く飲んでいるお酒をひとつ選んで下さい。	一般成人					大学生	計
	都市	農村	久米島	八重山	宮古		
イ. あわもり	23.7	33.0	61.0	41.5	60.9	29.6	38.0
ロ. 清酒	0.4	0.0	3.7	1.1	1.7	1.4	1.0
ハ. ウイスキー	26.8	23.9	9.8	21.3	18.3	29.6	22.6
ニ. ビール	44.3	38.1	24.4	33.0	19.1	38.0	35.1
ホ. ワイン	1.8	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
ヘ. その他	3.1	3.0	1.2	3.2	0.0	1.4	2.3
項目 4. あなたがお酒を「飲み出かける」回数は、月に約何回ですか。							
イ. 1、2回	66.8	74.1	59.0	48.9	41.2	75.4	62.3
ロ. 3～5回	19.7	18.2	21.8	30.7	27.2	18.8	22.0
ハ. 6～9回	7.7	2.4	6.4	6.8	17.5	4.3	7.4
ニ. 10回以上	5.8	5.3	12.8	13.6	14.0	1.4	8.3

飲酒行動に関する心理学的研究 I (中村・国吉・島袋・名城)

項目 5. あなたが自宅外でお酒を飲む主な場所は、次の中どこですか (ひとつ選ぶ)。	一 般 成 人					大 学 生	計
	都 市	農 村	久 米 島	八 重 山	宮 古		
イ. 親せき宅	9.8	11.3	17.1	16.3	12.3	0.0	11.2
ロ. 友人・知人宅	32.0	46.4	42.7	35.9	57.0	24.3	40.2
ハ. 大衆酒場	24.4	15.5	13.4	12.0	4.4	62.9	20.1
ニ. バー・キャバレーなど	24.9	13.9	13.4	29.3	16.7	1.4	18.1
ホ. その他	8.9	11.9	13.4	6.5	9.6	11.4	10.2
項目 6. あなたは自宅ですら月に何回お酒を飲んでいますか。							
イ. 1、2回	36.4	45.9	28.4	17.8	42.7	47.4	37.4
ロ. 3～5回	15.8	16.6	28.4	22.2	21.8	21.1	19.5
ハ. 6～9回	13.4	12.7	14.8	18.9	13.6	19.3	14.6
ニ. 10回以上	34.4	24.9	28.4	40.0	21.8	10.5	28.3
項目 7. あなたがお酒を飲む時の人数で最も多いのは次の中どれですか。							
イ. 自分一人で飲むことが多い	28.3	19.5	22.9	34.4	7.7	7.0	21.3
ロ. 2、3人で飲むことが多い	43.8	40.5	39.8	44.1	35.9	32.4	40.4
ハ. 4、5人以上で飲むことが多い	27.9	40.0	36.1	21.5	56.4	59.2	38.1

項目 8. あなたが酒代として使う金額は月に約どのくらいですか。	一 般 成 人					大 学 生	計
	都 市	農 村	久 米 島	八 重 山	宮 古		
イ. 2千円以内	18.8	29.6	21.7	14.0	20.0	29.0	22.3
ロ. 2千円～5千円	20.5	23.3	24.1	18.3	16.5	44.9	22.9
ハ. 5千円～1万円	28.6	27.5	24.1	21.5	25.2	17.4	25.5
ニ. 1万円～2万円	15.6	6.9	19.3	25.8	19.1	4.3	14.6
ホ. 2万円以上	16.5	12.7	10.8	20.4	19.1	4.3	14.7
項目 9. あなたは一週間に約何日お酒を飲んでいることになり ますか。							
イ. ほとんど毎日	19.7	16.8	26.5	28.4	16.4	1.4	18.6
ロ. 4、5日	13.1	10.7	14.5	26.3	14.7	7.0	13.9
ハ. 2、3日	25.3	21.4	34.9	27.4	31.0	25.4	26.5
ニ. ほぼ1日	9.6	8.7	6.0	4.2	19.8	15.5	10.4
ホ. ほとんど飲まない (月に1、2回)	32.3	42.3	18.1	13.7	18.1	50.7	30.6
項目10. あなたはお酒に強いですか。							
イ. 強い方である	45.1	37.7	42.7	43.0	50.0	50.7	43.9
ロ. 弱い方である	54.9	62.3	57.3	57.0	50.0	49.3	56.1

項目13. あなたがお酒を飲み始めた 時の主な飲酒理由は、次の 中のどれですか。 (ひとつ選ぶ)	一 般 成 人					大 学 生	計
	都 市	農 村	久 米 島	八 重 山	宮 古		
イ. 自信をつける	0.4	1.0	1.2	0.0	0.9	0.0	0.6
ロ. ストレス解消	13.8	10.3	11.1	6.7	1.8	1.4	9.0
ニ. 体によい (健康によい)	3.1	4.9	9.9	5.6	2.7	1.4	4.3
ニ. つき合いで仕方なく	43.1	45.8	37.0	46.7	64.6	38.6	46.3
ホ. 人間関係をより良く するため	19.6	15.8	22.2	24.4	10.6	18.6	18.0
ヘ. 好奇心	12.0	14.3	9.9	10.0	8.8	34.3	13.7
ト. 大人の仲間入り	8.0	7.9	8.6	6.7	10.6	5.7	8.1
項目14. あなたがお酒を飲む現在の 理由はどのような事が多い ですか。(3つ選ぶ)							
イ. 自信をつける	1.0	2.0	6.0	3.0	3.0	1.0	2.0
ロ. ストレス解消	25.0	19.0	20.0	17.0	18.0	23.0	20.0
ハ. 体によい (健康によい)	8.0	12.0	11.0	10.0	5.0	2.0	8.0
ニ. つき合いで仕方なく	27.0	30.0	26.0	29.0	42.0	26.0	29.0
ホ. 人間関係をより良く するため	26.0	28.0	32.0	27.0	28.0	33.0	27.0
ヘ. お酒が好きだから	13.0	9.0	7.0	14.0	6.0	15.0	10.0
ト. その他	2.0	2.0	3.0	4.0	2.0	2.0	2.0

項目15. 一般的に、人は何故お酒を 飲むと思いますか。 (ひとつ選ぶ)	一 般 成 人					大 学 生	計
	都 市	農 村	久 米 島	八 重 山	宮 古		
イ. 自信をつける	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	1.4	0.4
ロ. ストレス解消	27.0	27.1	20.5	18.6	9.9	37.1	23.9
ハ. 体によい (健康によい)	3.1	2.5	5.1	1.2	3.6	0.0	2.7
ニ. つき合いで仕方なく	18.6	19.6	20.5	31.4	38.7	10.0	22.6
ホ. 人間関係をより良く するため	28.8	24.1	29.5	29.1	34.2	20.0	27.7
ヘ. 好奇心	0.9	1.0	1.3	2.3	1.8	1.4	1.3
ト. お酒が好きだから	18.6	24.6	17.9	16.3	10.8	20.0	18.8
チ. 憂さ晴し	3.1	1.0	2.6	1.2	0.9	10.0	2.6
項目16. あなたの日常の生活にお酒 はどの程度必要ですか。							
イ. 絶対必要	9.0	5.8	6.1	7.6	3.5	2.8	6.3
ロ. ある程度必要	49.8	51.7	58.5	56.5	57.4	42.3	52.4
ハ. どちらかといえば、 ある方がよい	26.5	28.0	25.6	28.3	27.8	39.4	28.4
ニ. ない方がよい	12.1	14.0	9.8	6.5	11.3	12.7	11.6
ホ. あってはならない	2.7	0.5	0.0	1.1	0.0	2.8	1.3

飲酒行動に関する心理学的研究Ⅰ（中村・国吉・島袋・名城）

項目17. あなたがお酒を飲む主な時間帯は次の中のどれですか。	一般成人					大学生	計
	都市	農村	久米島	八重山	宮古		
イ. PM 5:00～ PM 7:00	2.7	2.5	2.5	3.3	2.7	0.0	2.4
ロ. PM 7:00～ PM 10:00	48.2	58.7	56.3	50.5	56.6	22.5	50.9
ハ. PM 10:00～ PM 12:00	37.1	33.3	35.0	30.8	24.8	50.7	34.6
ニ. PM 12:00以降	4.0	1.5	3.8	5.5	1.8	16.9	4.4
ホ. その他	8.0	4.0	2.5	9.9	14.2	9.9	7.7
項目18. あなたがお酒を飲み始めてから飲み終るまでの時間の長さで最も多いのは次の中のどれですか。							
イ. 30分以内	4.0	6.1	2.4	4.4	2.5	4.2	4.2
ロ. 30分～1時間	15.9	14.2	9.8	12.1	6.8	2.8	11.8
ハ. 1時間～2時間	22.6	21.3	25.6	25.3	12.7	11.3	20.4
ニ. 2時間～3時間	26.5	29.4	23.2	24.2	21.2	32.4	26.4
ホ. 3時間以上	31.0	28.9	39.0	34.1	56.8	49.3	37.2

項目19. あなたがビール、ワインなどの軽いお酒を飲むのは主に。	一 般 成 人					大 学 生	計
	都 市	農 村	久 米 島	八 重 山	宮 古		
イ. 食事の前が多い	47.4	45.6	46.8	47.1	39.4	40.3	45.0
ロ. 食事の最中が多い	8.1	7.8	2.6	20.0	14.4	19.4	10.8
ハ. 食事の後が多い	44.5	46.7	50.6	32.9	46.2	40.3	44.2
項目20. あなたが、あわもり、ウイスキーなどの強いお酒を飲むのは主に。							
イ. 食事の前が多い	23.3	28.2	22.7	30.6	16.7	2.9	22.4
ロ. 食事の最中が多い	7.9	7.9	6.7	14.1	4.6	4.4	7.7
ハ. 食事の後が多い	68.8	63.8	70.7	55.3	78.7	92.6	69.9
項目21. バー・キャバレー・大衆酒場等へ酒を飲みに出かける時は。							
イ. 職場から直行するこ とが多い	32.5	38.0	32.4	26.2	25.5	1.5	29.1
ロ. 帰宅してから出直す ことが多い	67.5	59.1	67.6	73.8	74.5	98.5	70.2

飲酒行動に関する心理学的研究Ⅰ（中村・国吉・島袋・名城）

項目22. あなたは、お酒を飲み過ぎて健康を害したことがありますか。	一 般 成 人					大 学 生	計
	都 市	農 村	久 米 島	八 重 山	宮 古		
イ. 2日酔程度が多い	48.3	42.7	58.5	52.2	54.4	50.0	49.4
ロ. 医者の治療を受けたことがある	8.3	7.5	6.1	8.7	13.2	0.0	7.9
ハ. そのような事はない	43.5	49.2	35.4	39.1	32.5	50.0	42.6
項目23. あなたは、酒を飲みすぎて仕事を休んだことがありますか。							
イ. よくある	1.8	4.0	6.2	4.4	5.2	11.6	4.4
ロ. たまにある	27.2	19.3	25.9	29.7	32.8	20.3	25.5
ハ. ほとんどない	25.4	29.2	39.5	27.5	28.4	33.3	29.2
ニ. 全くない	45.6	47.5	28.4	38.5	33.6	34.8	40.8

項目24. あなたは、酒によってトラブルを起したことがありますか。(ひとつ選ぶ)	一般成人					大学生	計
	都市	農村	久米島	八重山	宮古		
イ. 家族とトラブルを起したことがある	25.0	23.9	31.9	38.2	40.4	1.6	27.1
ロ. 友人、仕事仲間とトラブルを起したことがある	15.1	19.4	7.2	18.4	14.1	19.4	15.9
ハ. 親せき、近所の人とトラブルを起したことがある	2.6	0.6	2.9	2.6	3.0	0.0	2.0
ニ. 警察のやっかいになるトラブルを起したことがある。	1.0	3.9	1.4	0.0	3.0	8.1	2.6
ホ. その他	56.3	52.3	56.5	40.8	39.4	71.0	52.4
項目25. あなたには、きまった飲み仲間がいますか。							
イ. いる	62.0	58.0	50.0	55.6	61.0	75.4	60.0
ロ. いない	38.0	41.5	50.0	44.4	39.0	24.6	39.8

飲酒行動に関する心理学的研究Ⅰ（中村・国吉・島袋・名城）

項目26. 項目25でイと答えた方にお聞きします。 あなたの飲み仲間は、どのようなつき合いの人ですか。	一 般 成 人					大 学 生	計
	都 市	農 村	久 米 島	八 重 山	宮 古		
イ. 家族・親せきの者	6.3	8.6	12.8	15.7	9.9	2.0	8.6
ロ. 友人	53.2	49.1	33.3	47.1	45.1	96.0	53.2
ハ. 職場の仲間	35.7	25.9	38.5	31.4	35.2	0.0	28.9
ニ. 同じ地域の人	4.0	11.2	15.4	5.9	7.0	0.0	7.1
ホ. その他	20.0	20.0	0.0	0.0	2.8	2.0	1.1
項目27. あなたは、宴会や会合などの集まりでお酒を飲む機会は月に平均してどのくらいありますか。							
イ. 月に1・2回	67.6	65.2	61.3	60.2	59.1	73.5	64.8
ロ. 月に4・5回	10.5	11.4	15.0	21.6	26.4	7.4	14.6
ハ. 月に5～10回	3.2	3.8	8.8	2.3	4.5	2.9	4.0
ニ. 月に10回以上	3.2	2.7	1.3	3.4	4.5	0.0	2.8
ホ. その他	15.5	16.8	13.8	12.5	5.5	16.2	13.9
項目28. あなたは、どのような集まりの宴会、会合などで酒を飲むことが多いですか。							
イ. 家族・親せきの祝い	17.9	18.4	20.3	21.3	22.5	1.4	17.8
ロ. 地域での祝賀会	3.7	8.6	21.6	4.5	2.7	2.9	6.6
ハ. 職場の集まり	33.0	35.7	29.7	44.9	40.5	1.4	33.0
ニ. 友人との親睦会	39.0	30.8	27.0	27.0	27.0	87.0	37.0
ホ. その他	6.4	6.5	1.4	2.2	7.2	7.2	5.6

項目29. 宴会や会合であなたは、酒をどの程度飲んでいると思いますか。	一般成人					大学生	計
	都市	農村	久米島	八重山	宮古		
イ. 酔うぐらい飲むことが多い	35.4	32.5	50.0	38.9	57.8	49.3	41.1
ロ. 酔わないようにさしひかえる事が多い	51.1	50.0	43.8	54.4	37.1	43.5	47.7
ハ. ほとんど飲まないことが多い	13.5	17.0	6.3	6.7	5.2	5.8	11.0
項目30. 宴会や会合の後に二次会などがあるときは、あなたは							
イ. 参加することが多い	71.2	69.8	68.8	73.6	75.2	82.6	72.5
ロ. 参加しないことが多い	28.8	28.6	31.3	26.4	24.8	17.4	27.1
項目31. 項目30でイと答えた人に聞きます。二次会では、							
イ. よく飲む方である	61.7	49.3	67.3	62.7	73.9	64.3	61.3
ロ. 飲まない方である	38.3	45.3	32.7	37.3	26.1	35.7	37.3
項目32. 項目30でロと答えた人に聞きます。二次会に出ないときは、							
イ. 自宅で飲み直す	22.7	10.1	23.1	11.1	17.9	0.0	15.4
ロ. 二次会とは別行動で飲む	7.6	6.3	11.5	3.7	14.3	0.0	7.5
ハ. ほとんど飲まない	69.7	64.6	65.4	85.2	67.9	100.0	71.0

飲酒行動に関する心理学的研究Ⅰ（中村・国吉・島袋・名城）

項目33. 一般に宴会や会合での席で 酒に酔った上でのトラブル が多く見うけられますか。	一 般 成 人					大 学 生	計
	都 市	農 村	久 米 島	八 重 山	宮 古		
イ. かなり多い	2.8	3.2	2.7	2.4	2.0	4.3	2.9
ロ. ある程度トラブルが ある	10.6	15.1	6.7	6.0	10.9	17.4	11.5
ハ. 少ない方だと思う	86.6	80.6	90.7	91.7	87.1	78.3	85.4
項目34. あなたにとって気楽に酒の 飲める場所は、次のうちど こですか。							
イ. 自宅・親戚宅	59.2	62.3	62.5	69.2	57.4	22.1	57.3
ロ. 友人宅	6.9	16.7	12.5	3.3	20.0	29.4	13.6
ハ. 大衆酒場	13.8	8.8	6.3	6.6	6.1	39.7	12.3
ニ. 職 場	2.3	3.5	5.0	6.6	2.6	0.0	3.3
ホ. バー・キャバレー	11.5	8.8	11.3	11.0	9.6	0.0	9.3
ヘ. その他	5.7	0.0	2.5	3.3	4.3	8.8	4.0
項目35. お酒はあなたの生活に役立 っていますか。							
イ. 役立つ	19.6	14.4	19.5	24.4	13.6	14.5	17.5
ロ. 多少役立つ	45.3	40.8	48.8	46.7	38.2	33.3	42.6
ハ. わからない	25.8	35.8	28.0	20.0	37.3	46.4	31.4
ニ. 邪魔になっている	9.3	9.0	3.7	8.9	10.9	5.8	8.5

項目36. あなたの周りに度を越して 酒を飲む人がいますか。	一 般 成 人					大 学 生	計
	都 市	農 村	久 米 島	八 重 山	宮 古		
イ. 多いと思う	19.0	25.0	25.3	29.5	30.9	32.9	25.4
ロ. 少ないと思う	81.0	75.0	74.7	69.3	69.1	67.1	74.5
項目37. あなたがお酒を飲みかわす 時の話題で最も多いのは、 次の中どれですか。 (ひとつ選ぶ)							
イ. 政治・経済	5.1	3.0	0.0	3.3	2.8	6.3	3.6
ロ. 家族の話題	6.9	10.6	10.4	9.9	5.5	1.6	7.9
ハ. 地域社会の話題	26.3	32.7	31.2	23.1	25.7	21.9	27.6
ニ. 職場の話題	18.4	13.1	13.0	13.2	11.9	14.1	14.5
ホ. 仕事の話題	35.0	33.2	41.6	42.9	45.9	1.6	34.9
ヘ. その他	8.3	7.5	3.9	7.7	8.3	54.7	11.5
項目38. あなたが酒にともなって食 べる料理で主なものは次の うちどれですか。 (ひとつ選ぶ)							
イ. 琉球料理	35.1	43.4	62.5	52.2	38.7	8.7	40.2
ロ. 和 食	39.1	31.1	17.5	23.3	42.5	43.5	33.8
ハ. 洋 食	9.8	6.1	6.3	6.7	4.7	21.7	8.5
ニ. 中華料理	3.1	4.1	3.8	5.6	1.9	5.8	3.8
ホ. その他	12.9	15.3	10.0	12.2	12.3	20.3	13.7

飲酒行動に関する心理学的研究 I (中村・国吉・島袋・名城)

項目39. お酒を飲む時に音楽があつたらよいと思いませんか。	一 般 成 人					大 学 生	計
	都 市	農 村	久 米 島	八 重 山	宮 古		
イ. あつた方がよい	78.5	71.6	70.7	77.8	84.1	80.0	76.7
ロ. ない方がよい	12.3	14.7	8.5	10.0	5.3	12.9	11.3
ハ. わからない	9.2	13.7	20.7	12.2	10.6	7.1	11.9
項目40. あなたが酒を飲む時は、どのような音楽がいいですか (ひとつ選ぶ)。							
イ. 演 歌	60.3	54.8	50.6	59.1	88.1	23.2	58.4
ロ. 琉球民謡	25.1	35.5	46.8	30.7	8.3	2.9	26.2
ハ. ポピュラー・クラッシック	11.0	6.1	1.3	3.4	2.8	39.1	9.2
ニ. ジャズ・ロック	1.4	1.5	1.3	1.1	0.9	23.2	3.3
ホ. その他	2.3	2.0	0.0	4.5	0.0	11.6	2.8
項目41. バー・キャバレー・大衆酒場等へ酒を飲みに出かける時は、							
イ. 自分から人を誘うことが多い	14.8	16.3	26.4	22.6	8.5	14.9	16.3
ロ. 人に誘われることが多い	85.2	82.6	73.6	76.2	91.5	83.6	83.1

項目42. お酒の持つ最大の利点は何 だと思えますか。 (ひとつ選ぶ)	一 般 成 人					大 学 生	計
	都 市	農 村	久 米 島	八 重 山	宮 古		
イ. 自信がつく	0.9	3.5	2.5	3.3	1.9	0.0	2.1
ロ. ストレス解消に役立 つ	35.6	29.3	24.1	26.4	17.8	31.9	28.8
ハ. つき合をよくなる	56.2	63.1	65.8	64.8	77.6	59.4	63.3
ニ. 体によい	3.2	1.5	5.1	2.2	0.0	1.4	2.2
ホ. 欲求不満解消になる	4.1	2.5	2.5	3.3	2.8	7.2	3.5
項目43. お酒の持つ最大の欠点は何 のような事だと思えますか。							
イ. 健康を害する	46.1	35.5	41.3	40.9	41.3	30.4	40.2
ロ. 人間関係を悪化させ る	1.8	10.2	5.3	6.8	5.8	2.9	5.6
ハ. 金がかかる	28.8	26.4	28.0	26.1	21.2	43.5	28.1
ニ. 社会に迷惑をかける (飲酒運転・犯罪等を 誘発する)	23.3	27.9	25.3	26.1	31.7	23.2	26.2
項目44. 酒を飲む人々(飲酒人口) は年々増加していると思 いますか。							
イ. かなり増加している	43.2	36.0	34.2	46.1	41.3	22.9	38.6
ロ. いくらか増加してい る	50.9	50.7	58.2	48.3	54.1	67.1	53.2
ハ. 減っている	5.9	13.3	7.6	5.6	4.6	10.0	8.2

飲酒行動に関する心理学的研究Ⅰ（中村・国吉・島袋・名城）

項目45. 酒に酔って問題を起す人が 増えてきていると思います か。	一 般 成 人					大 学 生	計
	都 市	農 村	久 米 島	八 重 山	宮 古		
イ. かなり増加している	25.7	22.3	20.5	28.4	29.5	11.4	23.8
ロ. いくらか増加してい る	52.8	52.8	42.3	48.9	58.1	64.3	53.1
ハ. 減っている	21.6	24.9	37.2	22.7	12.4	24.3	23.1
項目46. 沖縄では飲酒者に対する社 会の態度は							
イ. きびしいと思う	7.8	10.7	10.0	12.5	5.5	1.4	8.4
ロ. 大目に見ていると思 う	47.0	53.6	46.3	51.1	52.3	35.7	48.8
ハ. ルーズであると思う	45.2	35.7	43.8	36.4	42.2	62.9	42.8
項目47. あなたの周りで未成年者の 飲酒は							
イ. よく見られる	13.9	18.0	11.1	27.5	23.9	64.3	23.0
ロ. たまに見られる	35.1	45.1	44.4	39.6	53.1	25.7	40.6
ハ. ほとんど見られない	51.0	36.9	44.4	33.0	23.0	10.0	36.4